

1988年度／昭和63年度（昭和63年4月～平成元年3月）



役員

部長：田村 茂
名誉師範：清水 正一
師範：清水 直臣、安藤 勝英、加藤 雅晴
総監督：成毛 秀臣
監督：植村健次郎
主将：小野 英次
主務：岩崎 清信
副将：石本 千明、石井 敏
学連委員：井上 猛
4年生：真野 照久、谷岡 龍雄、倉形 興斉、
村尾 洋介
体育会常任委員：小野 英次、小林 俊二、狩野 学
副務：石川 琢也
合宿所主務：狩野 学

4年間を振り返って

小野 英次

インターハイを目指し走り続けた高校時代。柔道の面白さがわかりかけた時にはもう卒業。

「大学で柔道をもっとしたい。」、浪人中思い続けておりました。晴れてみた大学の稽古の光景は、今でも鮮明に覚えております。

主将を中心とした40名の部員の活気ある稽古ぶりは、高校時代参加した東海大、天理大、筑波大とは違う意味で良い稽古でした。

小兵ながら気性の激しい先輩達（本橋さん・山崎さん4年、尾辻さん、大隅さん3年等）が道場狭しと激しく喧嘩ごしの稽古をしていました。小兵の動きが全体の雰囲気盛り上げていました。

高校時代は10名程度で稽古をしていましたので、40名で毎日稽古できる環境には感激でした。

柔道部の4年間は概ねこんな毎日を送っておりました。

6：30起床、ランニング、掃除、

8：00朝食（1年生食事当番）⇒朝寝

12：00昼食⇒昼寝

4 : 3 0 稽古

7 : 3 0 風呂 ⇒食事 (居酒屋)

1 1 : 0 0 門限、消灯 (全体合宿時には早朝、午前、午後稽古)

良き先輩、同期、後輩に恵まれながら、この生活の繰り返しの中で多くの貴重な体験をいたしました。柔道部公式行事以外でも、大先輩の葬儀の手伝い、先輩の飲み会、体育会行事の手伝い、食事当番、草刈、畳干し、節目節目の鍋会、焼肉会、農協割、先輩を通じた数々のアルバイト (三越、そごう、薪割、堀合さんバイト、等) 全てが貴重な体験でした。

合宿所の生活は、毎日が笑いと思鳴に満ち溢れておりました。

肝心の柔道の稽古は、流通経済大合宿、筑波大合宿、警視庁・神奈川県警・日体大・国学院大への出稽古、春夏の3部練等、その当時は食事が喉を通らぬほどきつかったのですが、時の経過は不思議と辛さを打ち消し、純化し良い記憶に変化させます。

今、現役の後輩達に望むことは、一点のみ。

○4年間、とにかく柔道に打ち込むこと！そして、柔道部を楽しむこと！

幹部を中心に自ら最低限のルールをつくり、メリハリのある、そして、笑いと思鳴の絶えない柔道部生活を築いて下さい。

柔道が強いとか弱いとかではなく、ひとつのことに打ち込む経験をもつことはかけがえのないことです。結果が伴うに越したことはないですが努力するプロセスこそ大事です。自ら望めばその可能性は無限のはずです。とにかく自分を信じ打ち込んでください。そして、稽古以外の部分でも柔道部生活をもっともっと堪能してください。

平成元年卒一同は、微力ながら、「頑張る部員達」をこれからも応援していきます。

最後に、4年間苦楽をともにした同期9名を思いつくままにご紹介し、終わりにさせていただきます。(①得意技、②柔道の特徴、③余談)

(1) 小林俊二 (チャーリー) ①左体落とし

②信じられない程からだだが固いが怪我に強く4年間皆勤。何もせずとも冬でも汗をかく

③日本酒をこよなく愛し、泥酔の度に顔・眼鏡に傷をつける。社会人の今も治らず。平成2年全銀協主催の「人権キャンペーン」で特賞の協会長賞を獲得。

⇒「人権差別にイエローカード！ 明るい未来にキックオフ！」

(2) 岩崎清信 (ゴリライモ、こども、いわちゃん) ①寝技

②瞬発力はないものの、持ち前の持久力を生かし4年時には寝技で開花。彼が頑張るとチームに勢いがつく

③腰の低さは日本一。蹴球部前の堰に車を落とし起床当番代わりをした事件は今も語り草。今後は三田柔友会の主務として一層の活躍が期待される人材

(3) 村尾洋介 (モロー) ①組み手

②相手が誰であろうと徹底して組み手に拘る。時に相手に火をつけ、大変な目に遭うがめげることなく立ち向かう。稽古後は何故か誰よりも元気、食欲も有り。体力ないが妙な元気を常にもつ。

卒業後、僧侶の車に引かれるも見事な受身で九死に一生を得る。家族の心配をよそに週末は懲りずに六本木を徘徊している模様。猛省すべし。

(4) 石井敏 (イシイどん、蟻地獄) ①寝技

②寝技に絶対的な自信を持ち、「ヨシャコラ！」と奇声を発しながら相手を攻め続ける。

③飲めば飲むほど勝負師になる。柔道部の花見帰り泥酔したまま銭湯で大の字になり、お祖母さんに運ばれた貴重な経験をもつ。同期一同思わず涙。

(5) 真野照久 (テルちゃん) ①右体落とし

②まったく強そうに見えない風貌こそ彼の強み。早慶戦での吉村 (全日本選手権出場) を投げ飛ばしたタイミングのいい体落としには定評あり。

③付き合いのよさも彼の売り。一度集合がかかれば何処に居ようとやってくる。いまでも節目節目には天津から参加。

(6) 石本千明 (イシモツ) ①背負い投げ、内股、寝技

②立技、寝技両方をこなすオールラウンダー。その性格の悪い寝技は後輩から最も嫌われる。四年時全日本学生出場。

③柔友会の活性化に向け若手の中心として活躍。HP開設、柔道祭、慶應杯、奨学基金設立、スカウト制度等数々の改革の実現に尽力す。

(7) 倉形興斉 (マロ、クラカラリ) ①巴投げ、トリッキーな技

②岡野功師範を神と崇め、拘りある独自の柔道を目指す。マジッシャンだけに時折トリッキーな技を繰り出しみんなを驚かす。

③白帯からのスタートだっただけに苦労も多かったはずだが、その頑固一徹な取組み姿勢には頭が下がるおもい。留年の度に家庭の会話が少なくなったらしくその点だけが同期一同の心配の種だった。

(8) 井上猛 (ポンさん) ①背負い投げ、小内刈り

②節制に努めた四年時には見事に体質改善。日吉三田マラソンでは他部を抑え1桁入賞。柔道でも「鉄壁のカメ」を会得す。

③退部希望者の説得には欠かせない人材。恵まれた環境で我儘に育つも、相手の話にじっくり耳を傾けるその姿勢に人はついつい心を開いてしまう。そして心の琴線が捉えられる。早慶戦の帰り、地下鉄のホームに転落、救急車で運ばれた貴重な経験を有す。

(小学生時代、東京都の防災ポスターのモデルとなり人生の絶頂期も経験)

(9) 谷岡龍雄 (タニー、浪速の小商人) ①各種巻込み技

②生まれながらに強靱でテカテカの肉体を持つ。固いからだに120%の力で強引に相手を攻撃し、時として相手を怪我に導く。個人的には最も稽古をしたくない男

③入部まもなく実業団との試合で首を骨折。またある時は、近所の依頼を受け、深夜チカンの張り込みをしていたところ、犯人と人相が似ていたため、別に張り込んでいた警察官に逮捕された経験をもつ。その他エピソード多数。

意外にも歴史に明るく、教育勅語、軍人勅語を諳んじ、鄙びたスナックでは絶大な人気を誇った。

あの頃の柔道部生活

岩崎 清信

日吉で点呼をしたときS木君は居なかった。ぼくはすっかり忘れていた。彼をトランクに載せたことを… 幸い彼の強靱な体力は僕を殺人者にはなかった。この場を借りてお詫びしたい。

●合宿所生活について

- 1号室：ぼくが初めて合宿所に来たのは 高校を卒業した春休みでこの部屋でお世話になった。そのときだけは上級生待遇で（もちろん食事当番ではない）朝食が終わると掃除もしないで惰眠をむさぼる。掃除は高校の時の先輩方がやっていた。自分がやるということは眼中になかった。合宿所は天国のようだと言ったのが運の尽きであった。高校の時の同級生をどんどん誘ってしまった。（そう 「天国のようだよ…」といいながら）
- 2号室：ここはあるとき、血液型がO型のひとばかりになった。いつも汚いんだけど、時々掃除すると非常に綺麗になった。あるときこの部屋で 北海道みやげのキャラメルを肴に焼酎を呑まされた。避けたい場所だ。
- 3号室：ぼくは主務だったので3号室だった、部で使用する薬品などを購入する関係で薬屋からアイドルのポスターを大量にもらっていた。いじめる先輩をマンガにしていたら、みつかってしまったこともあった。（なかなかの力作でした）K藤K一郎先輩のマッサージはたいへんだった。ぼくは力が無くてできなかった。あるとき、押し入れからジャンプしたらさすがに「ウッ」と言われて交替となった。
- 5・6号室：いつもワイルドであった。禁酒となった合宿の場合はティーパーティーをやっていた。（炭酸系やアイスのイッキはつらいもの）ぼくは、食事当番であることから逃げていたのだが、先輩にかわいがられるK林はいつも便器を頭突きで壊していた。一番避けたい場所だ。
- 7号室：変な瓶がおいてあった。それ以外は比較的綺麗な部屋であった。
- 8号室：石本はOK山先輩を「寝るまでマッサ」をやらされていた 本当に大変そうだった。

部屋毎に雰囲気異なるが3号室は比較的いつも穏やかだ

人間というものは都合の良いもので、つらかったことなどは忘れて自分にとって都合の良い楽しい思い出ばかりです。（S木君ごめんさい）柔道部では幼稚舎生から学生の親ぐらいの世代の方々と接する機会があり、核家族化している現代では、同世代の人よりもその面で恵まれました。おかげで具体的に書けませんが、多くのことを学ぶことができました。

そして何より、かけがえのない友人を得ることができました。

先輩の方々に非常にお世話になりました。これまでお世話になった柔道部にこれからできることをこつこつと恩返ししたい所存です。

●データ編

お 酒カフェバー プールバー（水泳ができるわけではありません）などが流行りました。酔っ払うと戸板で運ばれていました。

学 校あまり行くことがありませんでしたが、山食は木造でした。

4年生の送別会もここでやりました。岩崎のAの数は5年かけて6個です。

芸 能 萩野目洋子の「ダンシングヒーロー」がはやっていました。

柔道部では倉形の手品がおおはやりしかし、山際 昇先輩のファンシーケースをつかった中国手品にはかないません。

スポーツ 映画「私をスキーに連れてって」という時期で、スノーボードはゲレンデでは邪魔者でした。

今はどうか存じませんが練習がつらいと「エグい」といっていました。

文 学 村上 龍とかだったのでしょか。柔道部では石本がゼミと柔道の両立にがんばっていました。

流通経済大学

当時から定期的に訪問・合宿させていただくようになりました。部員の心・技・体の面で向上しました。(外耳に内出血を起こす学生が増えました。)

監 督 植村健次郎先輩でした。きさくな方で話しやすかったです。小生は主務であったことから接する機会が多かったのですが、筆まめな方でした。

ご指示頂くことも 的確かつ具体的で助かりました。

総監督成毛秀臣先輩でした。

小生は大学の4年までかわいがってもらいました。

部 長 当時は田村 茂部長でした。本当に熱心に行事に参加頂き、お言葉は心がこもっていて、部員・先輩方の胸をうちました。

同期をご自宅にご招待頂き、非常に楽しかったことを覚えています。

その後、小林(チャール)の仲人をやっていただきました。

末筆ながら皆様のご健康と柔道部の発展をお祈り申し上げます。

試 合 記 録

■第37回 東京学生柔道優勝大会 昭和63年5月29日 日本武道館

予選リーグ戦	本 塾	6	-	0	玉川大学	リーグ戦2位で全日本優勝大会出場決定
	小野 英次 4年	○	崩れ上四方固め		末 森	
	石井 敏 4年	○	縦四方固め		内 田	
	狩野 学 3年	○	大外刈り		水 沼	
	小林 俊二 4年		引分け		高 阪	
	真野 照久 3年	○	体落とし		山 崎	
	松井 聡司 3年	○	横四方固め		堀 田	
	渡辺 裕二 2年	○	払腰		草 場	
予選リーグ戦	本 塾	1	-	4	専修大学	
	石本 千明 4年		引分け		前 田	
	石井 敏 4年		引分け		梶	
	真野 照久 3年		上四方固め	○	阿 部	
	狩野 学 3年	⊖	返し技		山 本	
	小野 英次 4年		注意	⊖	森 河	
	土屋 嘉広 2年		小外刈り	○	服 部	
	谷岡 龍雄 4年		小外刈り	○	吉 田	

■第37回 日本学生柔道連盟統一記念大会 昭和63年6月25日 日本武道館

1回戦	本 塾	6	-	0	皇学館大学	学生連盟統一の記念大会
	小野 英次 4年	○	崩れ上四方固め		楠 田	
	石本 千明 4年	○	横四方固め		古 川	
	石井 敏 4年	○	袈裟固め		山 辺	
	真野 照久 3年		引分け		川 上	
	狩野 学 3年	○	内股		松 田	
	松井 聡司 3年	○	横四方固め		光 本	
	谷岡 龍雄 4年	○	大外刈り		柿 坂	
2回戦	本 塾	7	-	0	奈良教育大学	
	小野 英次 4年	○	横四方固め		原	
	石本 千明 4年	○	背負投げ		松 本	
	石井 敏 4年	○	袈裟固め		山 辺	
	真野 照久 3年	○	横四方固め		葉 山	
	狩野 学 3年	○	谷落とし		安 村	
	松井 聡司 3年	○	払腰		四 位	
	谷岡 龍雄 4年	○	後袈裟固め		中 村	
3回戦	本 塾	0	-	4	福岡大学	
	小野 英次 4年		引分け		松 尾	
	石本 千明 4年		横四方固め	○	飯 田	
	石井 敏 4年		引分け		平 山	
	真野 照久 3年		引分け		青 柳	
	狩野 学 3年		大内刈り	⊖	桧 木	
	松井 聡司 3年		大外刈り	○	吉 本	
	谷岡 龍雄 4年		合せ技	○	岡	

■第7回 東京学生柔道体重別選手権大会 昭和63年9月4日 日本武道館

-60kg級	1回戦	井上 猛 4年		払腰	⊖	江潮則広	国士館大
-71kg級	1回戦	石本 千明 4年	○	横四方固め		多賀隆晴	法政大
	2回戦	石本 千明 4年	○	不戦勝		笹村信人	明星大
	3回戦	石本 千明 4年	⊖	指導		荒木直之	帝京大
	4回戦	石本 千明 4年		大外刈り	○	徳安一成	日体大
代表決定戦		石本 千明 4年		縦四方固め	○	甘利政一	亜細亜大

代表決定戦	石本 千明 4年	●	判定	中島宏文	亜細亜大	7位全日本学生体重別出場
2回戦	真野 照久 3年	○	合せ技	鈴木雄二	創価大	
3回戦	真野 照久 3年		内股	○ 甘利政一	亜細亜大	
1回戦	土屋 剛 1年		体落とし	○ 星野悟	東海大	
-78kg級 1回戦	石井 敏 4年	○	不戦勝	清水誠司	創価大	
2回戦	石井 敏 4年	○	絞め技	大庭毅	和光大	
3回戦	石井 敏 4年		判定	● 行徳祐二	大正大	ベスト16
1回戦	奥脇 直純 3年		合せ技	○ 村上優	中央大	
1回戦	土屋 嘉広 2年		小外刈り	○ 権藤和明	中央大	
-86kg級 1回戦	小林 俊二 4年		背負投げ	○ 酒井貴雄	駒沢大	
1回戦	谷岡 龍雄 4年		大外刈り	○ 元林太	中央大	
2回戦	政岡 和洋 3年		崩れ上四方固め	○ 水沼政彦	専修大	
-95kg級 2回戦	小野 英次 4年		内股	○ 柳田勝浩	東海大	
95kg超級 2回戦	狩野 学 3年	●	判定	● 黒田光	亜細亜大	
3回戦	狩野 学 3年		判定	● 玉置新	日本大	
代表決定戦	狩野 学 3年		判定	● 相馬史人	国士館大	ベスト16

■第20回 全日本柔道新人体重別選手権大会東京予選 昭和63年10月2日 講道館

-60kg級 1回戦	加賀美行彦 1年		内股	○ 木下光之	日体大
-71kg級 1回戦	関口 健一 1年	⊖	背負投げ	小合沢健	明学大
2回戦	関口 健一 1年		大外刈り	○ 上田信也	東海大
-78kg級 1回戦	三島 一樹 1年	○	不戦勝	高村哲親	世田谷学園高
2回戦	三島 一樹 1年		判定	● 佐藤俊宏	国学院大
2回戦	米沢 博行 2年		体落とし	○ 松浦正明	大東文化大
2回戦	土屋 剛 2年		内股	⊖ 古川弘次	国学院大
-86kg級 2回戦	宇田 博信 1年		合せ技	○ 柏木秀和	東海大
1回戦	渡辺 裕二 2年		判定	● 田島浩晃	明大中野高
1回戦	土屋 嘉広 1年		判定	● 水野淳	専修大
1回戦	竹村 賢一 1年		注意	⊖ 奥園慶治	日本大
-95kg級 2回戦	渡辺 一博 1年		小外刈り	⊖ 桑島潤	世田谷学園高

■第7回 全日本学生柔道体重別選手権大会 昭和63年10月8日 日本武道館

-71kg級 1回戦	石本 千明 4年		巴投げ	⊖ 村上一徳	松山商大
------------	----------	--	-----	--------	------

■第40回 早慶対抗柔道戦 昭和63年10月10日 早稲田大学柔道場

本 塾		○	早稲田大学	4人残り
				優秀選手：石井敏、狩野学、土屋嘉広
奥脇 直紀 3年		⊖	道 脇	
渡辺 一博 1年			道 脇	
関口 健一 1年	○		川 地	
渡辺 裕二 2年			川 地	
谷岡 能雄 4年			成 田	
井上 猛 4年		⊖	鈴木(新)	
鈴木 学 2年	○		鈴木(新)	
鈴木 学 2年		○	山 村	
松井 聡司 3年	○		山 村	
松井 聡司 3年		○	石 塚	
土屋 剛 1年			石 塚	
土屋 嘉広 2年	⊖		藤 原	
土屋 嘉広 2年			月 岡	
狩野 学 3年	○		堀 内	
狩野 学 3年	○		中 村	
狩野 学 3年			吉 村	
岩崎 清信 4年		○	佐 野	
政岡 和洋 3年			佐 野	

真野 照久 4年
石川 琢也 3年
石本 千明 4年
村尾 洋介 4年
小林 俊二 4年
小林 俊二 4年
石井 敏 4年
石井 敏 4年
小野 英次 4年

○

○

引分け
内股
注意
内股
払腰
袷袋固め
送り襟絞め
支釣込み足
引分け

○

⊖

⊖

○

○

信 夫
岡 村
岡 村
岡 村
岡 村
鈴木 (克)
鈴木 (克)
小 泉
小 泉
昌 谷
森 山
亀 木
高 木